

# 子育て支援計画(進行管理対象事業)の進捗状況について

## 1 子どもの健やかな成長

---

### ○ 子どもや家庭の健康の確保

#### (1) 母親・両親学級

母親学級では、育児実習や子育て中の母親や・妊婦同士の交流などを通し、産後の生活を具体的にイメージできるよう工夫し、実施した。両親学級は、妊婦とそのパートナーが、育児を共に行っていくための心構えや、育児について話し合える機会となっている。今後も、母親・両親学級を実施することにより、妊娠・出産・育児の不安解消と支援に努めていく。(実績報告 P. 16 事業番号 1-1-2)

#### (2) 栄養指導講習会

ライフステージに応じた栄養指導の一環として、妊婦や乳幼児、子育てを支える方を対象とした栄養指導講習会を開催し、食を通じた健康づくりに関する知識と技術を伝達できた。今後も様々な講習会等を実施していくとともに、保健サービスセンター内外での栄養相談を充実させていく。(実績報告 P. 17 事業番号 1-1-11)

### ○ 児童虐待防止対策の充実

#### (1) 児童虐待防止ネットワークの充実

児童虐待防止のため、要保護児童対策地域協議会の運営により、関係機関相互の連携を図るとともに、共催事業のイベント等で啓発活動を行った。今後も、複雑化する子育て家庭の問題に対応するため、関係機関と連携を図っていく。(実績報告 P. 18 事業番号 1-2-2)

#### (2) 乳幼児家庭支援保健事業

4か月児健診受診者のうち、支援を要すると考えられた人に対し保健サービスセンター事業や保健師による支援及び必要に応じ関係機関との連携による支援を行った。今後も、支援を要する家庭の早期把握と支援体制の強化に努める。(実績報告 P. 19 事業番号 1-2-3)

## 2 子どもの生きる力、豊かな心の育成

---

### ○ 青少年の健全育成

#### (1) 放課後全児童向け事業

29年度は新たに、柳町、関口台町、大塚、湯島小学校の4校において事業を開始し、事業実施校は計12校となった。31年度までに全区立小学校での事業実施を予定している。(実績報告 P. 20 事業番号 2-1-2)

#### (2) 中高生の居場所の確保 (b-lab (文京区青少年プラザ) 等)

文化・スポーツ、学習支援事業、出張b-lab等の訪問事業を実施するとともに、広報誌を発行するなどの広報活動等により事業の周知を図った結果、目標利用者数を超える実績となった。今後も、中高生が各事業に企画段階から参画することで、自主性・社会性を育み、

中高生の居場所としての充実を図る。(実績報告 P. 21 事業番号 2-1-4)

(3) ひきこもり等の自立支援

事業開始から 4 年目となり、ひきこもり等の状態にある本人からの相談が増加する中、相談事業（電話・来所・メール）に加え、居場所事業、社会経験を積むための段階的なプログラム、講演会、茶話会等を実施した。また、ひきこもり等自立支援事業関係機関連絡会を 4 回開催し、個別ケースについて情報共有を図った。継続した支援が重要であるため、引き続き、事業周知を図り、段階的な支援を行う。(実績報告 P. 22 事業番号 2-1-5)

○ **子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備**

(1) 学校施設の整備

改築について、誠之小学校は仮設校舎の建設、既存校舎の解体を実施し、また、明化・柳町小学校は、基本設計が完了した。今後、誠之小学校は新校舎建設工事を着実に実施し、明化・柳町小学校については、詳細な実施設計を実施の上、工事に着手していく。また、老朽度合い等により計画的に本郷台中学校の校庭改修、昭和小学校の給食室整備、指ヶ谷・根津小学校の外壁・サッシ改修を実施した。今後も、教育環境の向上に向け、計画的な改修・整備を実施していく。(実績報告 P. 23 事業番号 2-2-7)

### 3 地域における子育て支援

---

○ **地域との協働・活動支援**

(1) 文京区子育てサポーター認定制度

貞静学園短期大学等の協力を得て、研修を実施し、計 44 人のスタンダードサポーターを認定した。また、子育て支援員研修（地域子育て支援拠点事業）のカリキュラムを取り入れた研修を実施し、計 27 人のアドバンスサポーターを認定した。今後も、ファミリー・サポート・センター事業の提供会員や地域子育て支援拠点の従事者等の担い手の充実を図っていく。(実績報告 P. 25 事業番号 3-1-2)

○ **健全育成活動への支援**

(1) 青少年の社会参加と青年育成事業の推進

青少年の社会参加推進事業及び青年育成事業の経費の一部について補助を行い、NPO 等の特性を活かした事業や青年自らが企画・運営を行う事業が展開された。今後も、申請実績のない NPO 等にも情報が行き届くよう周知方法の充実を図りながら、事業に対する補助を行う。(実績報告 P. 29 事業番号 3-3-2)

### 4 すべての子育て家庭への支援

---

○ **保育の充実**

(1) 安心・安全なシッターサービスの提供

利用者アンケート結果で、85%が総合的に満足していると回答している。30 年度に向け、

生活保護受給世帯等に対する利用料の一部助成制度を構築するとともに、ひとり親緊急一時ホームヘルパー派遣事業とひとり親家庭子育て訪問支援券事業の統合について整理した。今後も利用者アンケートを継続的に実施し、ニーズの把握を行い、区が指定する事業者との情報共有を図ることで質の確保を図っていく。(実績報告 P. 30 事業番号 4-1-1)

(2) 区立幼稚園の認定こども園化

柳町こどもの森(柳町幼稚園・柳町保育園)及び明化幼稚園の改築基本設計が完了した。今後、改築に伴う新施設開設時(33年～35年頃を予定)の認定こども園化に向け、30年度は実施設計を行い、31年度以降工事に着手する。(実績報告 P. 32 事業番号 4-1-5)

(3) 地域型保育事業

家庭的保育者2人について、30年度から子ども・子育て支援新制度における家庭的保育事業への移行手続きを進めた。また、小規模保育所を6施設開設し、保育サービスの量的拡大を図るとともに、事業所内保育事業について、運営要領を策定した。(実績報告 P. 35 事業番号 4-1-9)

(4) 一時保育

29年7月からホームページによる空き状況の公開を開始し、利用者の利便性の向上を図ることができた。また、30年度に向け、貧困家庭への支援を強化するため、生活保護受給世帯等に対する利用料の一部助成制度を構築した。今後、制度の周知を図ると共に、利用者ニーズを把握し、更なる利便性向上を図っていく。(実績報告 P. 37 事業番号 4-1-12)

(5) 病児・病後児保育

病気により集団保育の困難な児童を一時的に預かることで保護者の就労等を支援することができた。また、民間事業者の訪問型病児・病後児保育を利用した際の費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。さらに、30年度に向け、生活保護受給世帯等に対する利用料の全額助成制度を構築した。今後、都立駒込病院内での病児・病後児保育事業の実施に向けて、東京都と協議を進めていく。(実績報告 P. 38 事業番号 4-1-13)

(6) 区立幼稚園の預かり保育

保育料の減免制度がある一方で、預かり保育料については減免制度が制度化されていなかったため、30年度より実施するよう減免制度の導入に向けて制度設計を行った。利用実績も前年度より増加しており、今後も更なる子育て支援の拡充と利用率の向上を図っていく。(実績報告 P. 39 事業番号 4-1-14)

(7) 私立認可保育所の整備拡充

保育所待機児童の状況を踏まえながら、公有地の活用なども含めて私立認可保育所を5施設開設することで、保育サービスの量的拡大を図った。また、保育の質・安全確保を図るため、新規開設園を重点的に、巡回指導を行った。(実績報告 P. 41 事業番号 4-1-17)

(8) 育成室の整備及び運営

29年4月に、汐見第二、誠之及び湯島小学校育成室を開設した。駕籠町会館の建物老朽化対策とエレベーター設置改修工事に併せ、育成室の内装改修及び設備整備を行う。また、引き続き指導員及び非常勤職員を対象とした研修を実施し、保育の質の向上を図っていく。(実績報告 P. 42 事業番号 4-1-19)

(9) 民間事業者誘致による小学生の受入れ

29年度開設のベネッセ学童クラブ音羽に対し、施設の運営に関する経費の一部に対する補助を実施した。また、新たに区内への誘致を1ヶ所（ベネッセ学童クラブ春日、30年度開設）行い、施設整備にかかる経費の一部に対する補助を実施した。（実績報告P.42 事業番号4-1-20）

○ **子育てに伴う心理的負担の軽減**

(1) 子育てひろば事業

28年度から開始した子育てひろば汐見と子育てひろば江戸川橋の日曜開館は徐々に定着してきている。引き続き日曜開館の周知をはじめ、魅力的な講習会の実施など、事業の充実を図る。（実績報告P.45 事業番号4-2-2）

○ **仕事と生活の調和に向けた啓発**

(1) 男女平等参画推進事業

女性の再就職に役立つセミナーを開催したほか、父親が育児をすることについての写真展や講演会を行った。UN Women 日本事務所や区内大学、NPO等と連携し、暴力の根絶や国際女性デーの啓発促進事業を行った。また、指定管理・契約事業者を対象に、性自認及び性的指向に関する対応セミナーを開催した。今後も継続的に学習の機会を設けると共に、若年層や育児中の方の参加を増やすように努めていく。（実績報告P.47 事業番号4-5-1）

## 5 子どもを守る安全・安心なまちづくり

---

○ **青少年のための地域環境の整備**

(1) 非行防止・更生保護の推進

社会を明るくする運動を実施したほか、東京ドーム周辺広報啓発活動では、運動の趣旨の呼びかけを行い、文京区社会を明るくする大会では、中学生の意見発表や大塚ろう学校の児童による合奏等を実施し、更生保護への理解を深める機会を提供した。文京矯正展では、刑務作業製品の展示販売を通して、犯罪や非行防止・更生保護について啓発を図った。今後も、犯罪や非行のない明るい社会の構築に取り組んでいく。（実績報告P.48 事業番号5-1-1）

○ **児童の安全の確保**

(1) 安全・安心なまちづくり

「文の京」安全・安心まちづくり協議会を開催し、防犯対策を推進する地区として新たに4地区の指定、8地区の指定更新を行った。指定地区では、防犯カメラの設置に係る費用の補助等を実施する。また、特殊詐欺防止のため、自動通話録音機を無償貸与するとともに、「文の京」安心・防災メールでは、79件の防犯等安心情報を配信し、区民への注意喚起を行った。（実績報告P.51 事業番号5-3-2）